



「活きていることわざ」

船橋市議会議員（無所属・4期）

神田 廣栄（かんだひろえい）市議会報告

【事務所】
船橋市前原西8-24-8
☎047-490-3333
Fax 465-7117
Eメール hiroei@muc.
biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.
hiroei.jp

目から鱗（うろこ）が落ちる。因果応報（いんがうほう）

【目から鱗が落ちる】◇あることがきっかけになって、突然物事がよく見えて理解できるようになる、ということ。

【解説】「新約聖書」の中のことば。キリストの奇跡によって、目の見えなかった人が突然見えるようになったことを表現したもの。

【因果応報】◇人の考えや行いの善悪に応じて、相応の報いがある、ということ。

【解説】「因果」は、原因と結果。仏教で、過去及び前世の因業（いんごう）に応じて果報があるといったため

【類語】自業自得。身から出た錆

例年になく寒い冬でしたが、いよいよ3月になりました。なんとなく心がうきうきしてきます。大地に芽吹きが始まるこの季節が大好きです。とはいえ、花粉症に悩まされている人にとっては「とんでもない」ことかも知れません。何事も自分の物差しだけでは測れないものです。

そのように、自分の思いだけではなく、よくよく人様の意見を聞くべきだ、ということがありました。

2月19日から第1回定例会が開会されました。「した」ではなく「される」と表現したのは、議会の招集権は市長にあるからです。「〇月〇日に議会を招集します」と議長を通じて議員全員に招集通知がきます。

とはいえ、実際は、現在進行中の議会の終盤の議会運営委員会で、次回の議会の予定が案として提出され協議します。余程の突発的なことでも発生しない限り、案通りに開会されるのが常です。

毎年第1回定例会において、市長から「市政執行方針」と「新年度予算」などが提案されます。「市政執行方針」とは、市長が4月からの一年間に、新しく行う事業、継続発展させていく事業、将来を見越して行う事業など、市長の考え方を述べるものです。

次に今回提出された「市政執行方針」のタイトルを列記します。

1. めざすまちの姿に基づく施策の展開
 - (1) 非常時への備えのあるまち
 - (2) 安心して暮らせるまち
 - (3) 未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち
 - (4) 笑顔があふれる子育てのまち
 - (5) 人が集まる元気なまち
 - (6) 市民に愛され、育まれるまち
2. 行財政改革の推進



春は好きになれない

その(1)から(6)には、それぞれ実現するための主な施策の要点を述べています。施策を実践するための予算が別冊で提出され、議会で審議していくのです。

その「市政執行方針」について、最近の議会運営委員会で、ある委員から「市長が読む市政執行方針は、議員に配布されているし、長々と読んでいるだけだから、もう市長が読む必要はないのではないか。時間の無駄ではないか」というような発言がありました。

事実、過去から、ずーと40分から50分ほど市長が壇上で読み上げていました。

「なるほどなぁ。それもありがたか」などと思っていたのは事実です。

その後、私の事務所に来た人（いつも議会の傍聴に来ていて、議会通）に「市政執行方針について、こんな話があった」と言ったところ、彼は「市民にとって市長の市政執行方針を文章で見ることではないし、市民に直接言葉で執行方針を伝えることは、耳から入ってくるので大切なことではないか。何のためにお金かけてインターネットで議会の生中継や録画をしているのかねえ」

と、耳の痛いことを言われました。「そうだ、このことに限らず昔から連続（れんめん=ずっと書いていて飽かない癖）と続いているのにはそれなりの理由があるんだ」と『目から鱗が落ちた』気分になりました。

最近「地方自治法の〇条にはこう書いてある。もっと勉強しろ」「市長とは二元代表制だから議会は議会優先で行かなければならない」に始まり、「議会」「議会」で何でも「議会」の大合唱で、**市民のことはそっちのけ**の気がして情けない気持ちのこの頃です。（全ての議員とは言いませんが）

また、「今はもうペーパーレス時代だから」と、2月から議員にはタブレットが配布され、委員会や本会議場で使っているようです。私は以前から公費でのタブレット購入には猛反対していました。必要なら自費（政務活動費でも大丈夫です）で購入すべきだと主張しています。私にも貸与されましたが使用する気持ちはありませんし、**猛反対**していたのにおめおめと「そうですか」と使う気にならないのです。

本会議場は50名の議員と、対面には市長や副市長、教育長、各部長など約50名が列席されています。市長側も、使用不使用は別にして全員がタブレットを持参しています。

ここでまた私は疑問を感じています。本会議場は出席者の全員が一応タブレットとかを使用できます。しかし、委員会などでの答弁の多くは、課長や課長補佐クラスが答えます。議員がタブレットを見ながら質問して、課長など答弁者はペーパーをめくりながら答弁しています。**滑稽ではありませんか**、何が「ペーパーレス」なのでしょう。

私がこんなことを言うと「じゃぁ課長たちにも持ってもらえ」なんて言う議員もいます。いくらかかるのでしょうか。みんな税金です。

今回質問しますが、来年度、市内の**学校のトイレ改修は1校のみ**です。

理由は「危険な外壁を補修するのが優先で、トイレまで予算がない」からだそうです。命にかかわることが最優先は理解します。トイレを改修なくても命には関係ありませんが、和式から洋式にも変えられず、屈（か）むことにも慣れず、家とは勝手が違う学校で**トイレを我慢している話**もあります。体に良いわけありません。議員各位、公費の有益な使い方、自分のことより子供達優先ではありませんか。『因果応報』にも注意しましょう。来年は4年に一度の市民の皆様の審判を仰ぐ年です。

